

アプリケーション概要

Adobe Experience Manager Sites

カスタマージャーニーのあらゆる顧客接点で
パーソナライズされた体験を迅速に構築、管理、提供



Adobe Experience Manager Sites は、カスタマージャーニーの全体にわたり、パーソナライズされたオムニチャネル体験を大規模かつスピーディに提供できる最新のクラウド型エクスペリエンス管理アプリケーションです。データから得られたインサイトを活用でき、コンテンツライフサイクルを通してマーケティングと開発のワークフローを最適化します。また、コンテンツ管理システム(CMS)としても機能し、一元化されたシステムひとつで従来型とヘッドレス型両方のコンテンツ管理に対応。web、シングルページアプリケーション(SPA)、モバイルアプリ、店舗内スクリーン、モノのインターネット(IoT)など、あらゆるチャネルへコンテンツを配信できます。

主要機能:

- › オムニチャネルエクスペリエンスの提供 - 構築したエクスペリエンスをあらゆるチャネル、デバイス、アプリで提供
- › 価値創出までの時間短縮 - マーケティングとアプリケーション開発の効率を高め、設計から実装までをスピーディに完了
- › エクスペリエンスの最適化 - AI活用でパーソナライズされたエクスペリエンスを大規模に提供
- › クラウドの俊敏性 - 最新のクラウドマイクロサービスアーキテクチャで安全性、拡張性、可用性を常時確保

顧客が購入しているのは、商品そのものではなく、エクスペリエンスです。そして、あらゆるエクスペリエンスを創り出しているのがコンテンツです。デジタル顧客接点の急増に伴い、顧客は、あらゆる接点で一貫性のあるシームレスなエクスペリエンスが提供されるものと期待しています。加えて、それぞれのカスタマージャーニーに合ったコンテンツが瞬時に提供されることも望んでいます。アドビが1,000名超の消費者に実施した最新の調査によれば、回答者の51%は、興味のあるコンテンツを提供するブランドの商品を購入する可能性が高いとする一方、コンテンツの読み込みに時間がかかりすぎる場合は利用を停止すると回答しています。

今日の顧客の期待に応えるためには、俊敏なCMSを導入し、チャネル依存型のコンテンツからチャネルに依存しない再利用可能なコンテンツへ、事前定義されたルールベースのパーソナライゼーションから動的な1対1のパーソナライゼーションへ、コードを多用したツールからコードをほとんど使用しないツールへと、オーサリングのプロセスを進化させる必要があります。顧客のニーズに合わせて拡張できるだけでなく、社内の俊敏性を高めるツールも提供できる、安全性の高いクラウド基盤が必要になるのです。

Adobe Experience Manager Sitesは、価値創出までの時間短縮、クラウドの俊敏性、エクスペリエンスの最適化、オムニチャネルエクスペリエンスの提供という4本の柱を通して、今日のコンテンツに対する要求を満たす俊敏性を提供し、IT部門とマーケティング部門の双方を支援します。

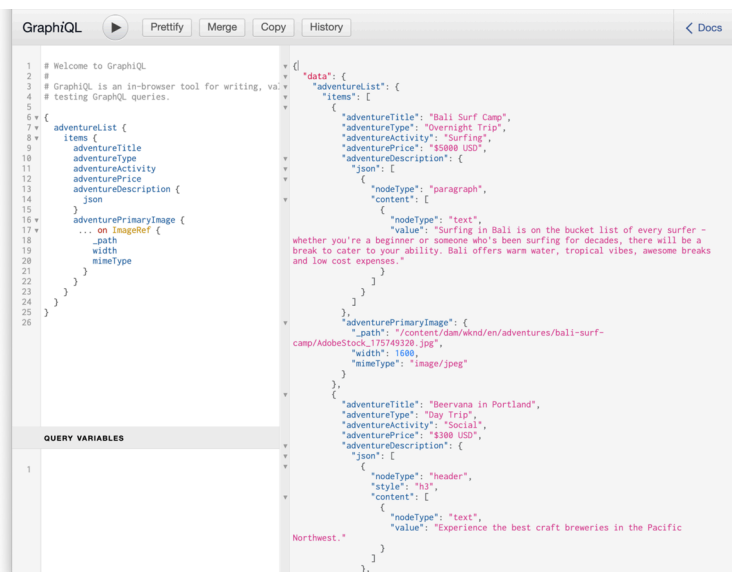
オムニチャネルエクスペリエンスの提供

成熟チャネルか新興チャネルかを問わず、あらゆるチャネルで優れたエクスペリエンスを提供します。チャネル非依存の再利用可能なオーサリング機能、ハイブリッド型（従来型とヘッドレス型）のコンテンツ配信機能を備えています。拡張可能なコンポーネントとAPIで、あらゆるエクスペリエンスを最適な方法で提供できます。主なメリットは次の通りです。

主な特長：

GraphQL - Adobe Experience Managerのコンテンツフラグメント用GraphQL APIは、あらゆるデジタルチャネルに対し、レスポンスに優れたブランドにふさわしい、アプリのようなエクスペリエンスを迅速に提供します。開発者は、業界標準のアプリケーション非依存のクエリ言語を通じ、コンテンツをクエリ、取得できます。GraphQLは、要求されたコンテンツだけを返し、余分なものは返さないコンパクトで効率的な設計なので、リクエスト側のアプリのフォーマットやニーズに合わせてレスポンスできます。またクエリは、1回の呼出しでネストされたコンテンツや複数の関連アイテムを返すことができるため、コンテンツやアプリの処理にかかる時間や帯域幅を大幅に削減できます。

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/headless-cms.html



開発者は、GraphQL APIを含む包括的なヘッドレス機能を活用して、コンテンツのクエリと配信をおこなうことができます。

HTTPベースのAPI - Adobe Experience ManagerのAPIを活用すれば、コンテンツを容易に管理できます。作成、読み取り、更新、削除の各操作はHTTPベースのAPIでおこなえるので、ヘッドレスのコンテンツ管理も容易です。詳しくはこちら：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/headless-cms.html

コンテンツフラグメント - 構造化データ要素で構成される再利用可能なコンテンツであり、プレゼンテーション形式に依存しないという特徴を持ちます。コンテンツフラグメントの定義は、フォームベースの構造化データモデルであるコンテンツモデルを利用しておこないます。そのため、ページやアプリベースのプレゼンテーション層を問わず、真の意味でのヘッドレス形式で容易かつ効率的に利用できます。リッチデータの種類やコンテンツフラグメントをネストする機能を活用して、コンテンツを最大限に再利用します。チャネルやユースケース別のバリエーションを作成可能で、Adobe Senseiによるテキストの自動要約にも対応しています。詳しくはこちら：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/content-fragments.html

エクスペリエンスフラグメント - 各配信先チャネルの仕様と切り離されて独立し、あらゆるページから参照可能な埋め込み型のレイアウトにより、単独または複数のコンポーネントを作成、管理します。webやモバイルなど、提携先や自社の配信先に対し、一度編集したコンテンツを単一基盤から提供し、容易かつ効率的に管理できます。詳しくはこちら：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/experience-fragments.html

サービスとしてのコンテンツ - コンテキスト依存コンテンツとチャネル非依存コンテンツのどちらでも、種類に関係なく、APIによってページレベル以下のあらゆるフロントエンドにJSON形式で配信できます。詳しくはこちら：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/content-as-a-service.html

SPA編集 - IT担当者はReactやAngularなど、馴染みのフロントエンドJavaScriptフレームワークを使用してSPAを構築できます。一方、マーケターはSPA上でコンテンツの編集、コンテキストに即したプレビュー、ローカライズと翻訳を実施できます。マーケティング部門とIT部門の間で延々と打ち合わせをする必要がなくなり、コンテンツ管理を最新のwebアプリケーション全体にまで広がられます。また、SPAの最初のページがサーバーサイドでレンダリングされるので、読み込みが高速化され、SEOで有利になります。リモートでホストされているSPAにも容易に対応できます。詳しくはこちら：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/single-page-app-editing.html

webページをPWAに変換 - 簡単な設定だけで、任意のwebページをProgressive Web App (PWA)に変換し、没入感のあるアプリのようなエクスペリエンスを提供できます。インターネットに未接続でも、顧客はコンテンツを利用できます。

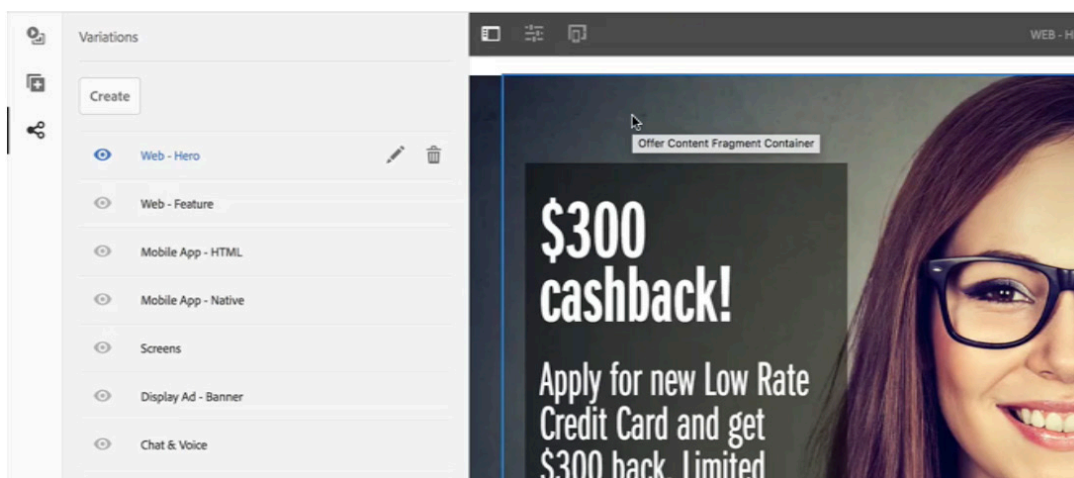
実店舗のデジタルスクリーン - インタラクティブなキオスクからデジタルサイネージに至るまで、あらゆるデジタルディスプレイをまとめて設計、提供、微調整できます。これにより、オンラインチャンネルとの一貫性を保ちながら、パーソナライズされた魅力的な顧客体験を提供できます。データドリブン型管理と、Adobe Experience Manager Screensによる

実店舗内スクリーンでの動的なエクスペリエンス提供の組み合わせで、手作業による管理を大幅に自動化し、効率化します。詳しくはこちら：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/digital-signage.html

コンテンツとコマース - アドビのコマース統合フレームワーク (CIF) は、あらゆるチャネルで、コンバージョンを大規模に促進します。すぐ使えるAdobe Commerceとの統合機能が搭載されており、サードパーティのコマース製品とも統合できます。これにより、Adobe Experience Managerの提供する、没入感のあるパーソナライズされたオムニチャネルのエクスペリエンスを、任意のコマース製品と組み合わせられます。また、Adobe CommerceのPWA Studioとの連携や、あらゆるストアフロントをまたいだAPIファーストの配信などにより、ヘッドレス型とヘッドフル型に両対応し、アプリのような使いやすいエクスペリエンスを実装できます。さらに、CIFのストアフロント向けコンテンツオーサリング機能により、Adobe Experience Managerのインターフェイスを離れることなく、Adobe Commerceなどのコマース製品から商品コンテンツを動的に取得し、Adobe Experience Manager Sitesで直接、コンテンツを編集できます。詳しくはこちら：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/digital-commerce.html



Adobe Experience Manager Sitesのユニークな機能が真のオムニチャネル配信をサポートします。

価値創出までの 時間短縮

Adobe Experience Manager Sitesは使いやすいツールを備え、コンテンツ管理を複数のチャネルや地域、組織などをまたいで容易に拡張できます。直観的なユーザーインターフェイスを使用してレスポンスなコンテンツを作成できます。これには、次のようなメリットがあります。

主な特長：

市場投入までの時間を短縮 - Adobe Experience Manager Sitesは、コンテンツ作成の迅速化、新商品やブランド、国ごとのマイクロサイト、キャンペーン、オファーなどのすばやい立ち上げを支援するツールを備えています。

コアコンポーネントのUIキット - Adobe XD用のUIキットにより、Adobe Experience Managerのコアコンポーネントライブラリで使用するテンプレートや画面をデザインできます。デザイナーは、よりの確に画面をデザインできるほか、Adobe Experience Managerの標準機能を通じて開発者への受け渡しをスムーズにすることで、市場投入までの時間を短縮できます。詳しくはこちら：
experienceleague.adobe.com/docs/experience-manager-learn/getting-started-wknd-tutorial-develop/overview.html?lang=ja

“

Adobe Experience Manager Sitesなら、これまで1週間かかっていた作業が20分で終わります”

Kamran Shah氏

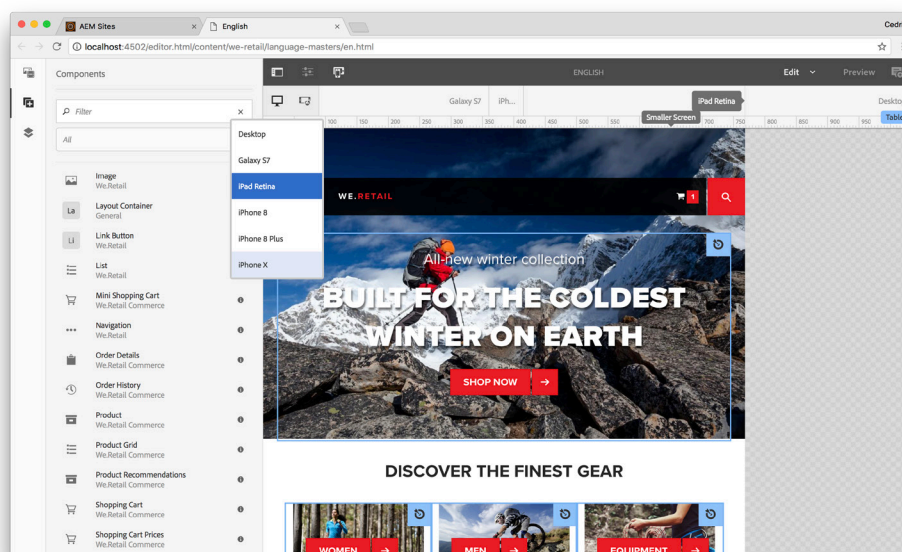
Silicon Labs

コーポレートマーケティングディレクター

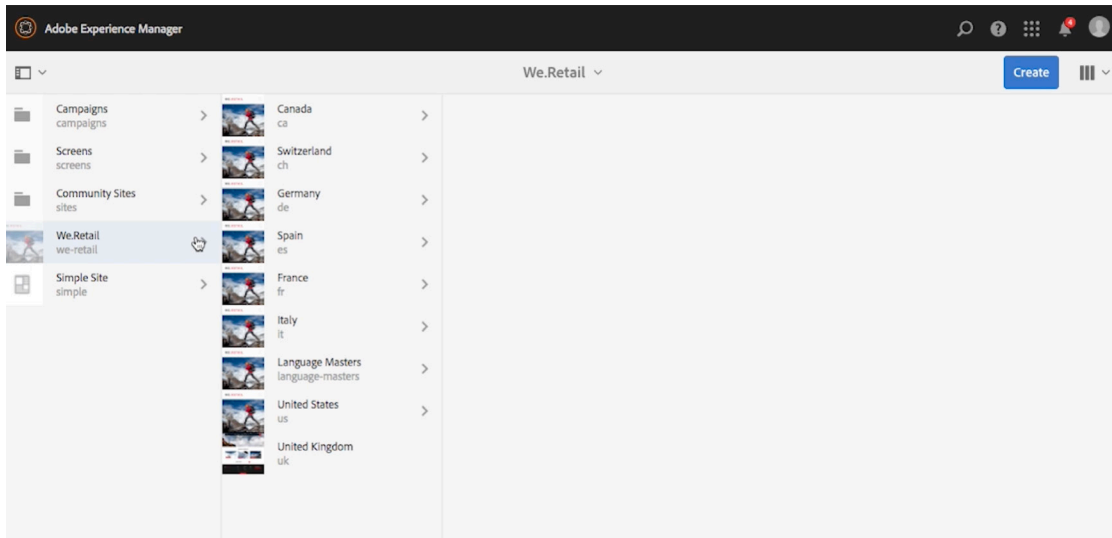
大規模なマルチサイト管理 - 再利用可能なテンプレートとコンポーネントを使用することで、ブランド価値を保護し、企業のキャンペーンやメッセージの一貫性を確保。グローバルに管理しているwebサイトのあらゆるデジタルエクスペリエンスをマーケター自身の手で管理できます。

地域や事業部門をまたぐきめ細かいパーソナライゼーション - ローカルのチームが現地のテイストや要件に合わせてコンテンツを容易に編集し、組み込まれたワークフローによってすばやく翻訳できます。

開発者向けチュートリアル『WKND』 - Adobe Experience Manager Sitesの実装手順をスタートからゴールまで順を追って紹介しているので、使用が初めての開発者でもアドビのベストプラクティスを身に付けられます。



Adobe Experience Manager Sitesなら、真に直観的なユーザーインターフェイスを使用してレスポンスなコンテンツを作成できます。



Adobe Experience Manager Sitesは、マルチサイト、多言語のコンテンツを管理できる業界最先端の機能を備えています。

すぐに使用できるコンポーネント — Adobe Experience Manager Sitesのコアコンポーネントは、画像やテキスト、ナビゲーションなどのページデザイン要素をサポートする様々な機能を備えています。高度なカスタマイズ能力を備え、すぐに使える標準のコンポーネントも揃っています。メーカーやIT担当者はこれらのコンポーネントを利用して、独自のデジタルエクスペリエンスをすばやく提供できます。これらのコンポーネントはHTMLとしてだけでなく、web以外のチャネルへのヘッドレス配信用にJSONとしてエクスポートすることも可能です。さらに、Accelerated Mobile Pages (AMP) とProgressive Web Apps (PWA) のサポートが組み込まれています。

使いやすいコンテンツオーサリング機能 - Adobe Experience Manager Sitesは、様々な機能により高品質なエクスペリエンスのスピーディな提供を支援し、価値創出までの時間を短縮します。例えば、取り消しややり直しを含む便利なキーボードショートカット、タッチ操作による容易なユーザーインターフェイス、ドラッグ&ドロップ操作によるコンテンツとエクスペリエンスの作成など、コンテキストに即したWYSIWYG仕様のコンテンツ制作と編集が可能です。また、ビジュアル検索、ページのプロパ

ティ、セキュリティ、翻訳、SEO、使用期限の管理などを含む、コンテキスト内およびインライン機能で、作業を迅速化、簡素化します。詳しくはこちら：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/web-content-management.html

組み込み型のモバイルコンテンツ管理サポートによるレスポンス対応 - 同じコードとコンテンツを使用し、様々なスクリーンサイズを想定したブレイクポイントを設定することにより、あらゆるデバイスに対応したレスポンスなモバイルwebサイトを構築できます。必要な機能が最初から組み込まれているので、その活用に技術的なスキルは不要。レスポンスなwebデザインにより、PCやタブレット、モバイルデバイスなどあらゆるデバイスで一貫性のあるエクスペリエンスを提供できます。

スタイルシステム - ブランドごとにコンポーネントを作成することなく、コンポーネントの設定だけで、コンポーネントレベル、コンポーネントグループレベル、ページレベルで様々なバリエーションを用意し、企業全体への拡張が非常に容易です。詳しくはこちら：
business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/style-system.html

迅速なサイト構築 - Adobe Experience Manager Sitesの迅速なサイト構築機能を利用すれば、バックエンドの開発をほとんどおこなうことなく、魅力的なエクスペリエンスを容易にデザインし、提供できます。サイトテンプレートはカスタマイズと再利用が可能で、Adobe Experience Managerに直接インポートして、コンテンツの編集をすぐに開始できます。新しいフロントエンドワークフローにより、フロントエンド開発者は、制作者がコンテンツの制作を続けていても、更新やスタイルの変更をシームレスにおこなうことができます。

詳しくはこちら：business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/sites-in-30.html

マルチサイト管理 - マスターテンプレートとコンポーネントを活用してあらゆるサイトを全社的に管理することで、ブランドの一貫性を確保しながら重複を排除。ローカルの担当者が地域ごとの変更を加え、ライブコピーを使用して関連性を維持できます。マスターとライブコピー間で変更を容易に同期させたり、逆に、関連付けを解除して地域ごとの自主的な制御に任せることも可能です。

詳しくはこちら：business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/multi-site-management.html

組み込み型の翻訳サービスとローカライズサービス - 多様性豊かなローカルコミュニティや地球の反対側にいる顧客まで、あらゆる潜在顧客にリーチしようとするなら、サイトを複数の言語で構築することになります。しかし、フルタイムの翻訳者と契約したり、人員を割いて質の低いオンライン翻訳ツールにサイトの宣伝文句をコピーアンドペーストして翻訳したりする以外の選択肢が必要です。アドビの組み込み型翻訳ワークフローと機械翻訳サービスコネクタを使用すれば、翻訳作業の効率とスピードを高め、キャッチコピーからコンテンツフラグメント、画像のメタデータに至るまで、サイトアセットの多言語版をわずか数分で用意できます。

詳しくはこちら：business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/translation-integration.html

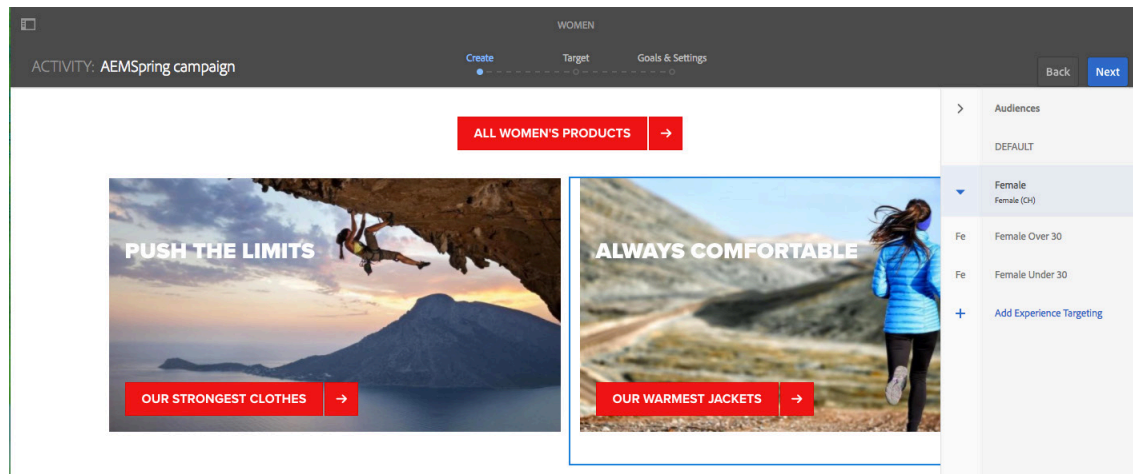
エクスペリエンスの最適化

Adobe Experience Manager SitesはAdobe Targetとネイティブに接続されているので、人工知能 (AI) とマシンラーニングによりコンテンツの大規模なパーソナライゼーションをおこない、マーケティング業務の効率とスピードを向上できます。また、Adobe Analyticsとの連携によって複数チャネルからコンテンツに関するインサイトを得て、詳細に分析できます。

主な特長：

プロフィールを統合 - 効果的なパーソナライゼーションをおこなうには、顧客とのやり取りを把握する包括的なデータが欠かせません。Adobe Experience Manager SitesはAdobe Experience Platformの統合プロフィールサービスと連携。1stパーティ、2ndパーティ、3rdパーティのデータを統合して隠れた意味を明らかにし、リッチなパーソナライゼーションを実現します。

ユーザーインターフェイスひとつでA/Bテストとルールベースのターゲティングを実行 - Adobe Experience Manager Sitesのエクスペリエンスフラグメントはチャンネルに依存せず、再利用可能であり、Adobe Targetへ容易にエクスポートできます。エクスポート後、統合ダッシュボードでリアルタイムまたは定期的なA/Bテスト、ルールベースのパーソナライゼーション、多変量解析をはじめとする高度なターゲティングルールを設定し、継続的にサイトを改善できます。



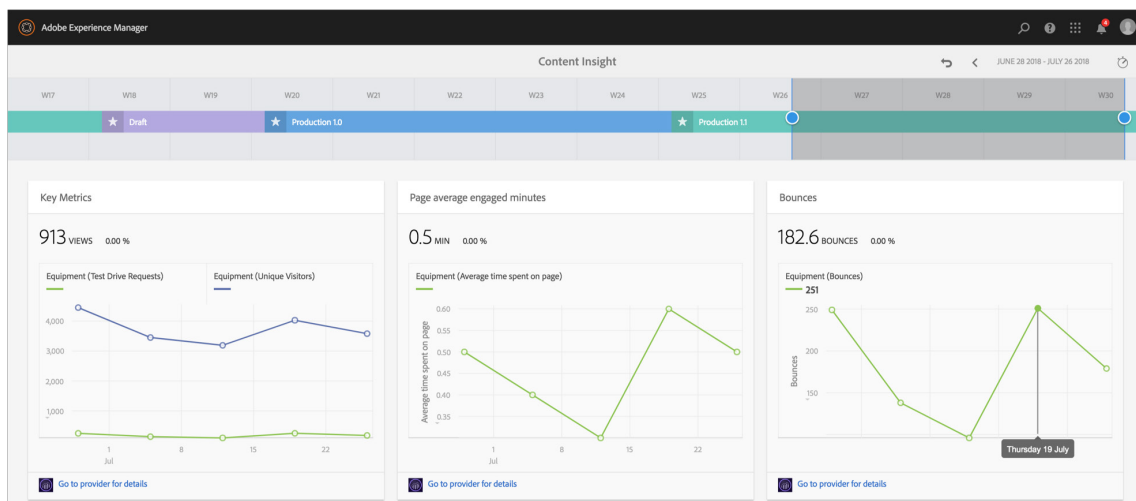
Adobe Experience Manager SitesとAdobe Targetなら、同じオーサリングインターフェイスを使用して、パーソナライズされたエクスペリエンスを創出、テストできます。

大規模にパーソナライゼーション - Auto-Allocate やAuto-Target (Adobe Targetを使用) など、Adobe SenseiのAIとマシンラーニング機能により、訪問者の顧客プロファイルか、プロファイルの似ている過去の訪問者の行動にもとづいて、各訪問者に最も合うエクスペリエンスフラグメントを提供します。

セットのパフォーマンスを測定します。Activity Map (Adobe Analyticsを使用) などの機能で、データですばやく効率的に可視化し、データにもとづく意思決定を支援。Adobe Senseiによる予測インテリジェンスやコンテンツインテリジェンスなどの機能を活用できます。

コンテキストに即した分析とレポート - Adobe Analyticsとの連携を通じて統合されたダッシュボードを使用してインサイトを入手し、コンテンツやア

インテリジェントなコンテンツ要約 - 希望するワード数に応じてテキストを自動的に要約し、様々なチャネルをまたいでコンテンツの提供を最適化します。



Adobe Experience Manager SitesとAdobe Analyticsの組み合わせにより統合ダッシュボードでデータにもとづいてコンテンツに関するインサイトを獲得できます。

クラウドの俊敏性

Adobe Experience Managerなら、中規模から大規模な企業が俊敏性や拡張性などのクラウドならではの利点を活かし、顧客の期待を上回ることが可能です。

主な特長：

革新的な技術をすばやく導入 - アップデートをシンプル化してコストを削減することで、新機能をすぐに入手できます。

優れた可用性と耐障害性 - 冗長化と事前対策型のモニタリングを通じて、基幹サービスレベルの可用性を実現します。

包括的なセキュリティとコンプライアンス - ISO 27001やSOC 2などの認定、業界固有の法規制にもとづくアドビのセキュリティ規則により、セキュリティの脅威やダウンタイムのリスクを最小限に抑えます。

ビジネスニーズに合わせて拡張 - 自動拡張機能によって最適なパフォーマンスを実現します。

市場投入を加速 - 専用でありながら設定と拡張が可能なCI/CDパイプラインを利用して、機能と負荷のテスト、コード品質チェック、テスト環境から本番環境まで含むあらゆるカスタムコードのプロモーションを自動化します。

開發生産性を向上 - アドビ提供のエンジニアリングベストプラクティスにもとづいた自動コード検査、テスト、セキュリティ検証などにより、品質を犠牲にすることなくリリースまでの時間を短縮できます。

優れた顧客体験 - Google LighthouseをAdobe Experience Manager as a Cloud Serviceと連携させることで、デジタル体験を本番環境で提供する前に、コンテンツの質やサイトのパフォーマンス、ユーザエクスペリエンスを自動的に検証できます。マーケティング部門と開発部門は、自社サイトが期待どおりの成果をもたらしてくれるという確信を持って、コンテンツを配信できるようになりました。

APIとの連携 - 既存のシステムや外部の通知チャネルを補完します。

専門家によるガイダンス - アプリケーションやインフラストラクチャの設定から稼動、運用管理に至るまでガイダンスを受けられます。



Adobe Experience Manager Sites
の利用者は、**3年間でROIが348%に達したと回答しています。**

IDCによるビジネス価値に関する調査 (2018年2月)

デジタル変革を推進する強力なエコシステムを備えた統合アプリケーション

Adobe Experience Managerは、より包括的なAdobe Experience Cloudの一部です。Adobe Experience Cloudに含まれる各アプリケーションをまたいで、データ、インサイト、コンテキスト、プロフィールを共有できます。これにより、価値創出までの時間を短縮し、統合されたマーケティング施策を実現できます。主な機能は次のとおりです。

- ＞ webやモバイル、電子メール、ソーシャルメディア、SMSなど、あらゆるチャネルをまたぐエクスペリエンスのパーソナライゼーションを実現する、Adobe Target／Adobe Campaignとのネイティブな接続
- ＞ 統合プロフィール、高度なセグメンテーション、予測分析などを備え、リッチな1stパーティおよび3rdパーティの顧客データへのアクセスを可能にする、Adobe Analyticsとのネイティブな接続
- ＞ API、ライブラリ、関連ドキュメントを提供し、Adobe Experience Managerをあらゆる3rdパーティアプリケーションと接続するAdobe I/O

また、Adobe Experience Managerでは、導入パートナーや開発者ユーザーグループ、包括的なデジタルラーニングリソースから成る巨大なエコシステムも利用でき、デジタル変革の目標を速やかに達成できます。



サービス

600社を超える
導入認定
パートナー



コミュニティ

ガイド付きのセルフ
サービス
ラーニング、コミュニ
ティ、
エキスパートとつな
がる機会をもたらす
Experience League



デジタル基盤の ブループリント

開発者のためのツール、
トレーニング、および
成功主導の
ベストプラクティスで
価値創生にかかる
時間を短縮



スキル

アドビデジタル
ラーニングサービス、
トレーニングおよび
認定



ガイダンス

アドビコンサルティング
サービスによって提供
される、
デジタル成熟度評価と
成功を支援する
模範的ガイダンス

Adobe Experience Managerの概要

Adobe Experience Managerなら、マーケターや開発者がweb、モバイル、ソーシャル、動画、店舗、SPA、モノのインターネット (IoT) など、あらゆるチャネルの枠を超えて顧客を魅了するデジタル体験を構築、管理、配信できます。このアプリケーションで管理できるデジタルエクスペリエンスは、webやモバイル、デジタルアセット管理、フォーム、コミュニケーションなど、多岐にわたります。また、アドビの他のアプリケーションと統合することにより、データインサイトを活用して特定のセグメントに狙いを定めたコンテンツを届け、コンテンツをパーソナライズされた魅力的な顧客体験へと昇華させ、顧客エンゲージメント、リードの創出、収益の最大化を可能にします。

詳細情報

www.adobe.com/go/aem_jp



Adobe, the Adobe logo, Adobe Experience Cloud, the Adobe Experience Cloud logo, and Adobe Sensei are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2021 Adobe. All rights reserved.

